

小平市立学校給食センター アンケート結果

【実施概要】

期間：令和3年6月28日（月）から7月9日（金）

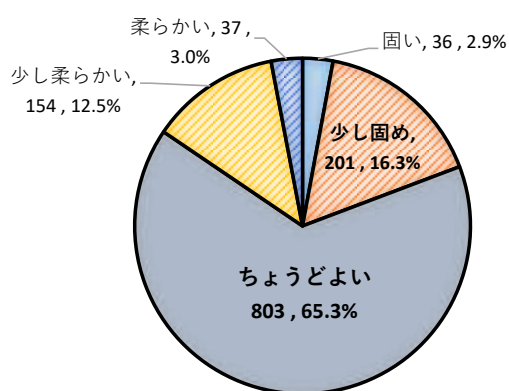
回答者：市立中学校生徒 1,231 名（1年生 383 名・2年生 439 名・3年生 409 名）

回答方法：各校指定された学年の生徒が Google 端末により選択回答。

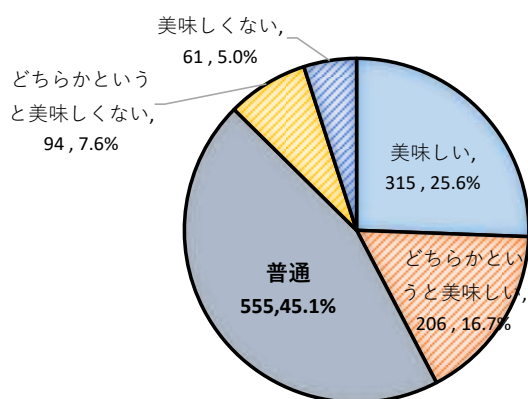
【結果】

1 主食について

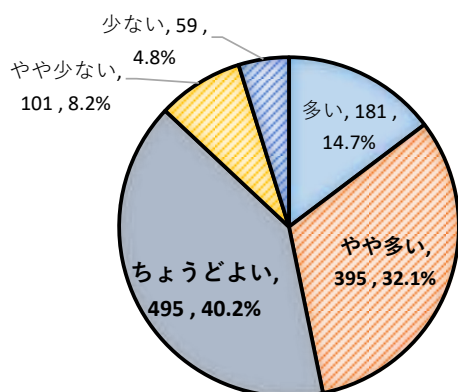
1 白米の固さはどうですか。



2 白米の味はどうですか。



3 白米の量はどうですか。



白米は、北海道小平町産の「ななつぼし」を使用しています。固さについては、「柔らかめ」と感じている生徒と「固め」と感じている生徒の割合が同程度となりました。

味に関しては、全体の 42.1% の生徒が「美味しい」「どちらかというとも美味しい」と回答しています。

（バックデータ）

白米を「美味しい」と感じている生徒と「美味しくない」と感じている生徒で分けてみても、いずれも固さの印象は「ちょうどよい」が最多で、「固め」・「柔らかめ」の回答割合は同程度でした。

量は、「多い・やや多い」が1年生で48.3%、2年生で40.8%、3年生で51.8%でした。

一方「少ない・やや少ない」が1年生で12.0%、2年生で15.5%、3年生で11.3%でした。

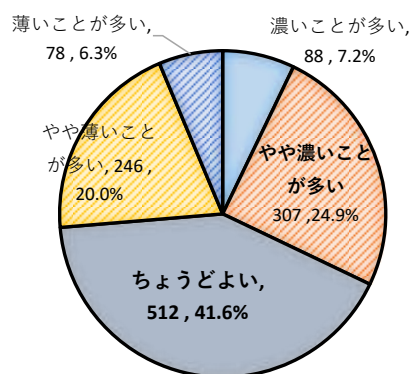
今回は、2年生で白米の量が少ないと感じている割合が比較的高い結果となりました。

(バックデータ)

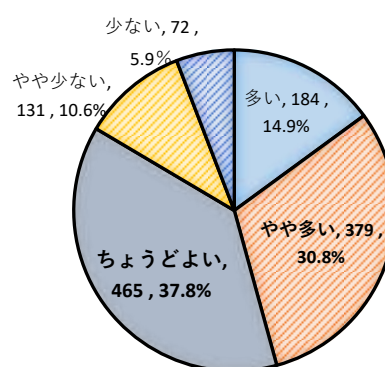
味が「美味しくない」と感じている155名のうち、89名(57.4%)が「多い・やや多い」と回答しており、全体の回答(46.8%)よりも割合が高くなりました。逆に「美味しい」と感じている521名のうち「少ない・やや少ない」と感じている生徒は78名(15.0%)で、全体(13.0%)よりもやや高い程度でした。

2 副食(おかず)について

1 味つけはどうですか。



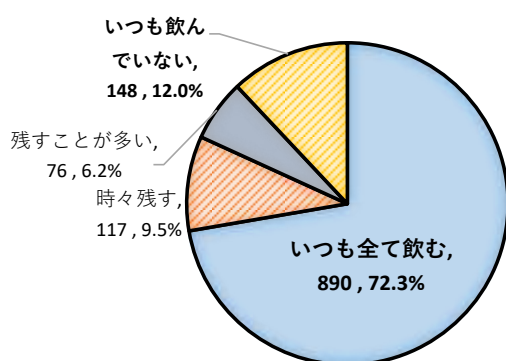
2 量はどうか。



味つけについては、全体の41.6%の生徒が「ちょうどよい」という回答で、各学年とも同程度の回答割合でした。「濃い」と「やや濃い」の合計は、1年生が33.9%、2年生が34.4%、3年生が27.9%で、1・2年生が「濃い」と感じている割合が若干高い結果でした。

量については、「ちょうどよい」が最多の37.8%でしたが、「多い」「やや多い」の合計は45.7%で「ちょうどよい」を上回っています。「多い」「やや多い」の合計は、1年生が48.6%、2年生が41.9%、3年生が47.2%で、1・3年生で「多い」と感じている生徒の割合が若干高い結果でした。

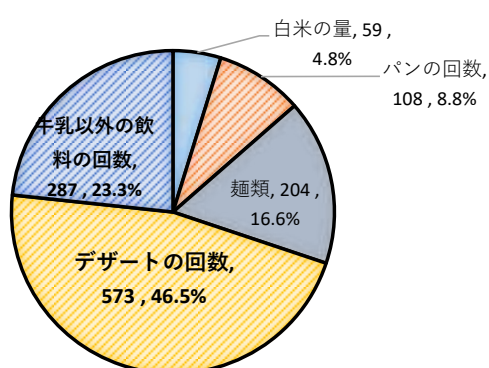
3 牛乳について



牛乳は、群馬県にある東毛酪農の瓶牛乳 200mlを提供しています。「いつも全て飲む」が、1年生で81.2%、2年生で73.3%、3年生で62.9%でした。

一方、「いつも飲んでいない」が、1年生で5.0%、2年生で11.9%、3年生で18.8%となり、学年が進むにつれて飲まない生徒の割合が増えています。

4 給食で充実してほしいものについて（単一回答）



「デザート回数」の充実を望む回答が半数近く（46.5%）にのぼり、3年生では半数以上の回答となりました。（1年生が38.4%、2年生が44.2%、3年生が56.7%）

「牛乳以外の飲料」は、1年生が23.0%、2年生が24.8%、3年生が22.0%と、全学年で同程度の割合でした。

「麺類」は、1年生が21.9%、2年生が16.9%、3年生が11.2%でした。

【結果を受けて】

現在、学校給食センターの建替え工事中であることからお弁当給食を実施していますが、設備や容器の都合上、汁物・麺類や揚げパン等の提供が難しい状況になっています。

そのような状況下ですが、献立作成委員会や各校の保健給食委員さんからいただいた意見やアンケート結果を参考に、食材料費や栄養量などの基準（学校給食摂取基準）の中で、喜んでもらえる献立を工夫していきたいと思います。

具体的には、二学期以降に以下のような充実案の実施を考えています。

- ・（予算上可能な範囲内で）デザートの回数を増やす。
- ・牛乳以外の飲み物（ミルクコーヒー、飲むヨーグルト、ジュース等）を月2回程度取り入れる。
- ・時々、個包装の「ふりかけ」をつける。
- ・（常温での）麺類の提供。
- ・（予算の範囲内で）個包装サラダドレッシングの提供。